



俳優座「コルチャック」に出会って

7月13日、両国シアターXで俳優座の「コルチャック」を観ました。ほとんど舞台装置らしいものがない舞台で、服装はモノトーン、11弦と6弦のギターの奏でるショパンの旋律にのせて語られる物語は、1942年の夏に誘います。コルチャックの子ども時代から大人までの道程、絶滅収容所までの彼の生涯を、加藤 剛さんを真ん中に8人の俳優が演じています。

コルチャックは、1878年ロシア領であったポーランド王国の裕福な家庭に、ポーランドのユダヤ人として生まれ、18歳の時、父の死により家は没落。アルバイトで母と姉を養いながら医学部に通い、日露戦争では、ロシア軍医として中国東北地方へ派遣されます。ユダヤ人の孤児たちの施設を設立し、戦争孤児の救済と教育にあたる傍ら、作家としても活躍しポーランド放送教育番組「老博士のおはなし」などを実施。コルチャックは、数回の救済の申し出を断って、「あなたたちは間違っている」と、年端も行かぬ女の子を抱き、もう一方の手に子どもの手を握り胸を張り「人生は不思議な夢のようだ・・・」と、200人の子どものたちとトレ布林カ絶滅収容所のガス室に消えていった。九条を守っていく思いを強くした、コルチャックとの出会いでした。 小澤 清子(代田5丁目在住)

8月15日(土) 平和のための戦争展2009 に、ご一緒しましょう

(8/12~16に 新宿・カタログハウス 及び スペースゼロ で開催)

集合 13:00 JR 新宿駅南口・小田急線南口地上改札口前

直接会場に行かれる方は、 13:15 カタログハウス玄関で

14:00~ 記念講演 「憲法を私たちの力にするために - 8月15日に考える」
小森陽一さん(九条の会 事務局長) 資料代:500円

16:00~ 国民学校一年生の会 イベント : 模擬授業

- ① 国民学校 初等科 音楽 「勝ち抜く僕等少国民」
- ② 新制中学校 社会科 「あたらしい憲法のはなし」

「国民投票法」施行は来年 見過せません、改憲のための準備

改憲手続き法の「国民投票法」が来年、2010年5月18日に施行されます。そこへ向けて衆議院では、6月11日の本会議で憲法審査会規程を与党自民党と公明党が議決を強行しました。その際、自民党は、「参院での憲法審査会規程の議決に至らないうちは具体的な委員の選任などは行なわない」と「規程凍結」を提示していたにもかかわらず、6月15日の衆議院議院運営委員会で、規定に基づき審査会の委員名簿を提出すると主張し、各党にも名簿の提出を求めました。

憲法改正には、衆参各院での3分の2の賛成による国会発議によって、「国民投票」が行なわれることから、国会での態勢がさしあたっての課題となっています。しかし、07年5月の「国民投票法」成立そのものが与党の強行採決であり、野党が多数を占める参議院では憲法審査会を始動させる動きはありません。

業を煮やした自民党の衆議院始動強行であります。日本経団連も7月6日、総選挙で各党が政権公約(マニフェスト)に盛り込むべきだとする「優先事項」10項目を発表し、自民、民主両党に提出しました。その中で「憲法改正に向けた合意形成」など財界の要求の実現を迫っています。また、メディアでも日経新聞が、7月6日の社説で「憲法審査会を参院も速やかに」と主張し、改憲の準備を促しています。

総選挙を前に、一部府県知事のパフォーマンスで、「地方分権か、中央集権か」と争点そらしの劇場型選挙が再現されようとしています。雇用や福祉など国民のくらしや核軍縮・平和の課題などにしっかりと向き合って、9条や25条をはじめ、いまこそ憲法を守り活かす機会にしていこうではありませんか (09.7.9 代田5丁目在住・高岡岑郷)

~ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ~
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

憲法 25 条「生存権」に思う

ボンレスハム (代田 1 丁目在住・中学 3 年)

昨今の日本ではホームレスが増えています。不景気のせいでしょうか。

憲法第 25 条「生存権」をご存知でしょうか？ 憲法の認める自由権、平等権、社会権のうちの“社会権”に該当し、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」というものです。法律上では、国は、“最低限度の生活”ができていないものがいた場合、その生活を引き上げる必要がある、ということなのです。

ホームレスの人が公園にいることがあります。公的機関は「出て行け」と言いますが、出て行くとして、彼らに行く場所があるのでしょうか。そういった生活からの立ち直りを支援する機関も、いくらかはありますが、まず少なすぎて、彼らがそういった機関に入れる確率は皆無に等しい、と思われまます。国や公的機関は、そういった問題にあまり取り掛からず、目をそらし、彼らが冬に凍死することを待っているようにさえ思えます。そのほうが楽だからでしょう。

だが、国の最高法規である憲法をつかさどる機関がこのような体勢では、憲法の言葉が、国民から見ると、言葉の独り歩きのように見え、本当に信頼することができなくなります。中には、失望して、自殺者が出たり、行き場がないために刑務所に入ろうとしてワザと犯罪を犯す人が出てきたりしてしまうのも無理はないのかもしれませんが、上げれば、キリがないようにも思いますが、まず、こうしたホームレスなどの問題にも目を向けてほしいと思います。彼らのほとんどは、好きでやっているはずはないでしょう、から。

(代田 1 丁目・山本武津美さんを通しての投稿です)

集会等の紹介

7月27日(月) 18:30 開演 九条の会東京連絡会 第5回交流会

第1部：特別講演 「ソマリア沖で自衛隊は何をしているのか」 東京新聞編集委員・半田 滋氏

第2部：報告 「小学校区単位で会を作る」 西東京九条の会

新宿農協会館 8階 会議室 会費1000円

連絡先 Tel 03-3239-6716

8月3日(月) 19:00開演 女優たちによる朗読「夏の雲は忘れない」1945 ヒロシマ ナガサキ

—— 岩本多代 中村たつ 神保共子 高田敏江 柳川慶子 渡辺美佐子

世田谷区民会館ホール 前売り1800円(当日2200円)

実行委員会 Tel 03-3428-1234

8月8日(土) 14:00開演 世田谷 反核・平和コンサート2009

出演 五味結音 親子ばとコーラス ほか

区立烏山区民会館ホール 参加費 999円(チケットは小澤まで)

8月12日(水)~16日(日) 平和のための戦争展2009 (第30回)

新宿・カタログハウス 及び スペースゼロ

8月15日(土) 午後に、代田九条の会で、参加します。

8月15日(土) 12:00開演 と 18:00開演 朗読劇 「月光の夏」

下北沢タウンホール 一般3000円

劇団東演 Tel 03-3419-2871

11月3日(火・休日) 13:30開会 代田九条の会 一周年記念の集い

東京都民教会 礼拝堂 (代田5丁目)

ゲスト：なべおさみさん、講演：小澤隆一さんを予定し、現在、詳細の計画を立案中です。



お願い：ニュース9号・特集「戦後64年・終戦記念日に思う」の原稿を募集しています。400字位で、7月末までにお近くの世話人までお寄せください。

日本国憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない